

受注生産品

フレキシブルフェース

ビル用 FF サイン

取扱説明書

このたびは当社の製品をご使用いただき、誠にありがとうございます。

■ GL より看板上端が 15m までの範囲で、建築基準法に準拠した強度の設計を行っています。





- ・ この取扱説明書は屋外広告業の届出があり、労働安全衛生管理上の知識を有する専門工事施工従事者を対象としています。
- ・ 正しく安全に取り付けして頂き、また安心してご使用頂くためにこの取扱説明書をご熟読の上、手順に従い施工を行ってください。
- ・ 注意事項を守らずに施工された場合は責任を負いかねますのでよくご理解の上、施工管理をお願いします。
- ・ この説明書は、安全維持とメンテナンスのために必要です。大切に保管してください。









説明内容

	page
1 守っていただきたい注意点	1
2 製品の概要	2
3 フレームの連結	3
4 フレキシブルフェース面の展張	4
5 額縁の取り付け	6
6 施工について	7
7 取り付け高さについて	8
8 結線について	9
9 シーリング工事	10
10 メンテナンスについて	10
11 フレームバリエーション	11

1 守っていただきたい注意点

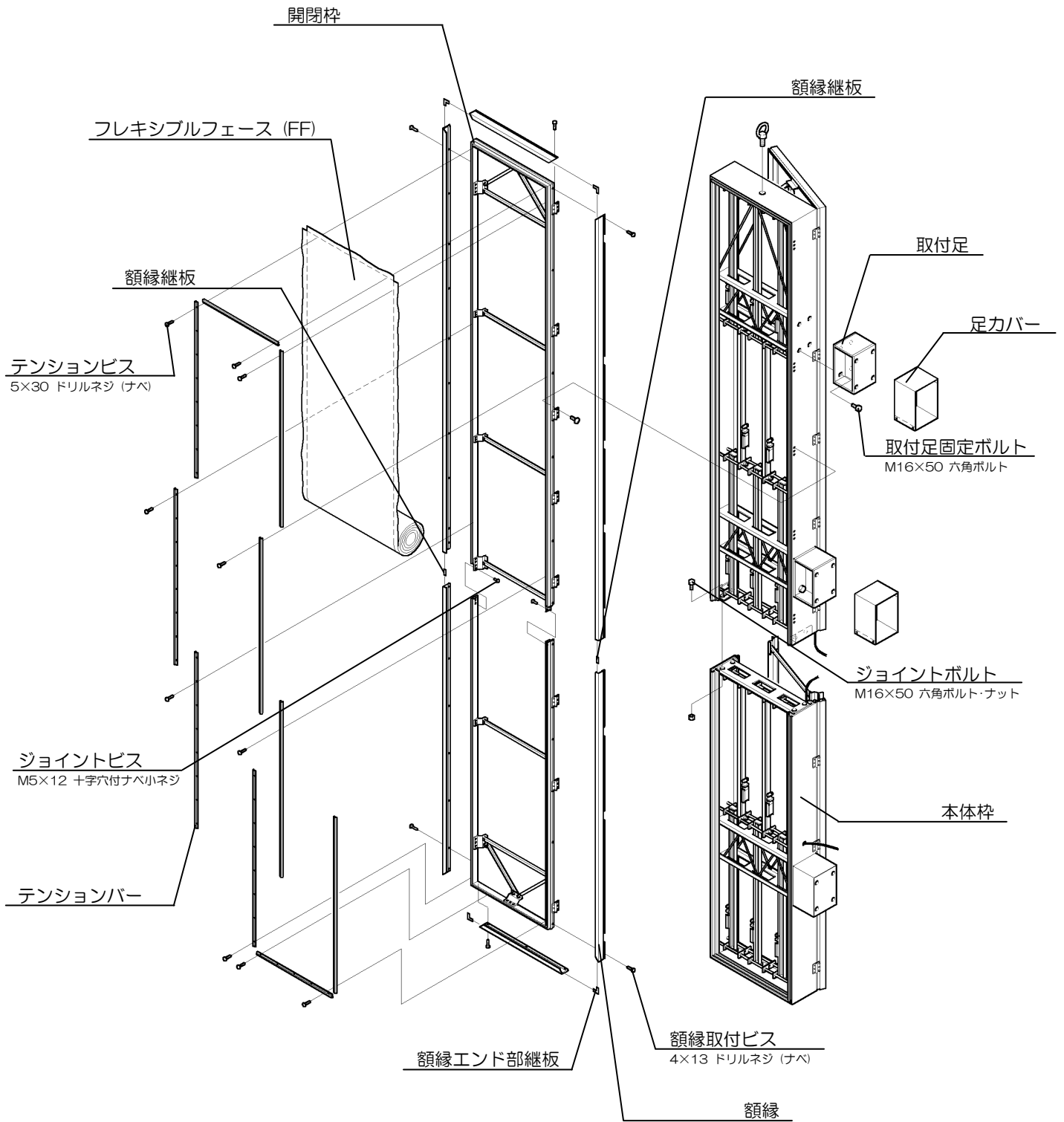
警告表示

 警告	重大な事故を起こす可能性があります。
 注意	製品の破損や、けがをする可能性があります。
 禁止	気をつけていただきたい禁止内容です。
 確認	気をつけていただきたい注意事項です。

-  **確認** 法令で定められた各種の手続き
-  **確認** 現場周辺の交通量の確認と安全確保
-  **確認** 取り付けた高さは、地上より看板天端で 15m を守ってください。高さを超えますと、強風時に看板・面板の破損、脱落の原因になります。
-  **確認** 電装品は 100V 高力率タイプを使用しています。200V では使用できません。200V の場合は電装品の交換が必要です。
当地の周波数 (Hz) と安定器の周波数が合っているか確認してください。
漏電による事故を防ぐため、漏電ブレーカーの設置と防水コンセントを使用してください。
-  **注意** 保管・運搬時には看板本体の上に重いものを置いたり、乗ったりしないでください。
変形や破損の原因となります。
-  **注意** 換気機能が十分に果たせないため、高温・多湿になる場所や直射日光・風雨にさらされる場所での梱包状態の保管はしないでください。結露の発生や雨水の浸入によるサビ、漏電の原因となります。
-  **警告** 看板を取り付ける壁面は、取り付けに耐えうるか確認してください。
(看板の脱落により、事故を起こす原因となります。)
-  **禁止** 当製品の改造はしないでください。使用条件が異なると安全性の再検討が必要です。

いずれも安全に関する重要な内容です、必ず守ってください。

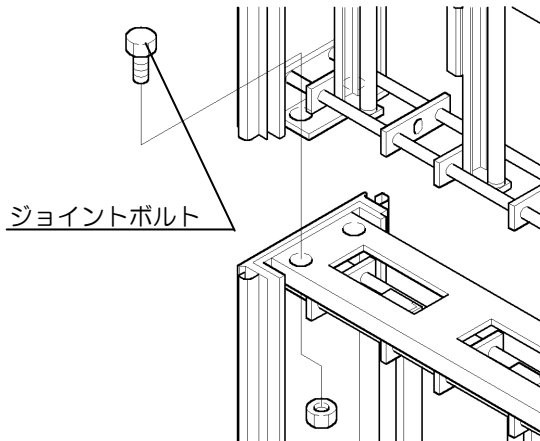
各部の名称



フレームが長尺の場合、連結の作業が必要となります。

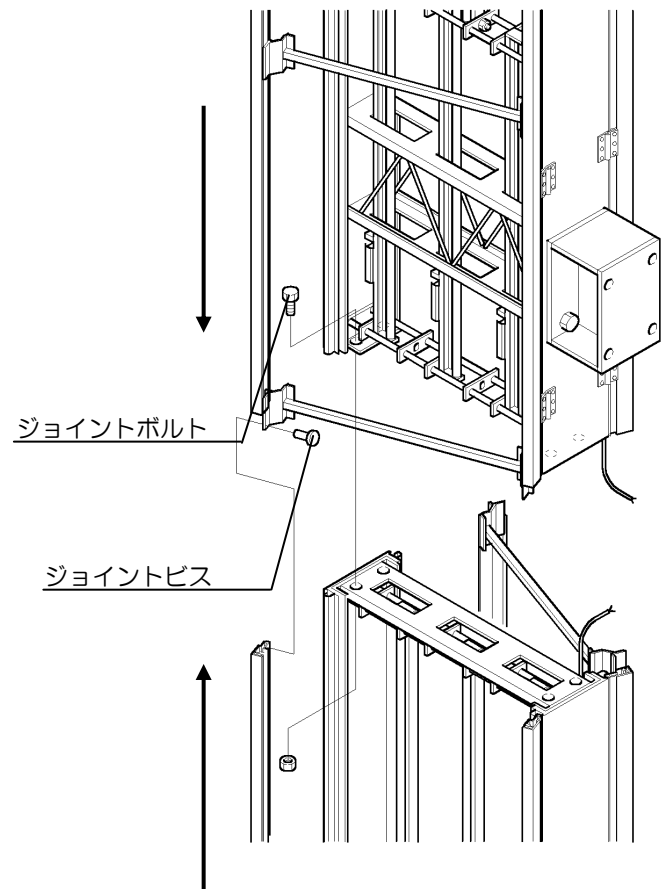
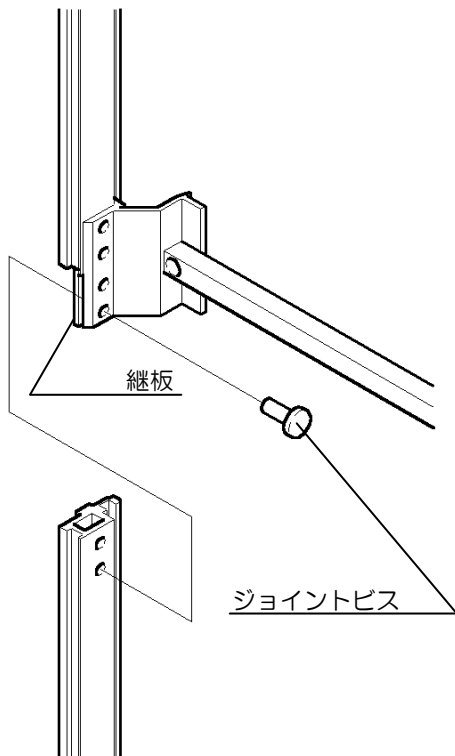
1. 本体枠の連結

本体枠の片側にセットされているジョイントボルト (M16×50 六角ボルト・ナット) を使用し、フレームの連結作業を行ってください。



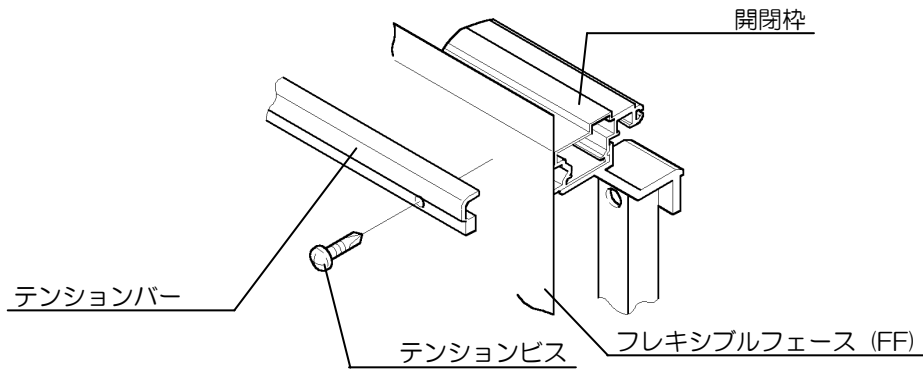
2. 開閉枠の連結

開閉枠の片側にセットされているジョイントビス (M5×12 十字穴付ナベ小ネジ) と継板を使用し、連結作業を行ってください。



！ 確認 シートは両面テープにて仮止めの後、テンションバーにて確実にビス止めしてください。
シートにゆりみ、たるみが生じない様に確認してください。

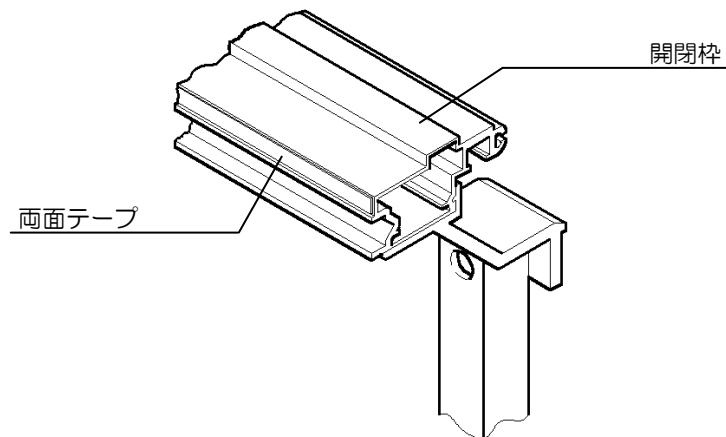
- フレキシブルフェース（以下 FF）の四辺を両面テープ（6mm 巾）にて仮止めし、テンションバー（アルミ型材）およびテンションビス（5×30 ドリルネジ）を使用して、必要な張力で均一に展張することが基本です。（図 1 参照）



(図 1)

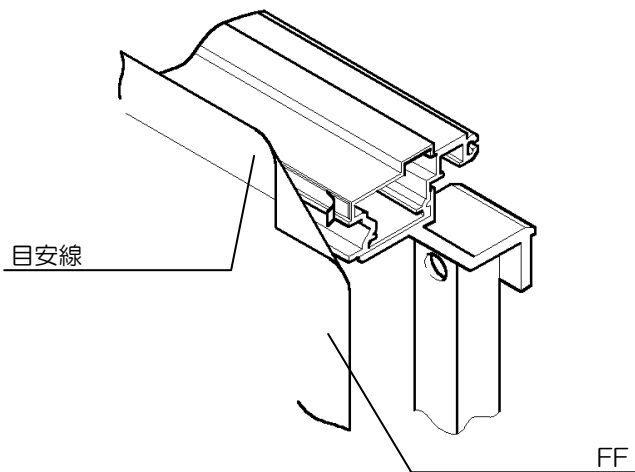
1 仮止め

1. 開閉枠の両面テープ貼り付け部の脱脂を行い、両面テープを全周に貼り付けます。（図 2 参照）

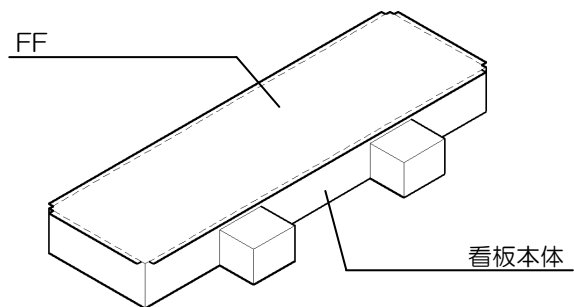


(図 2)

2. 開閉枠上に FF を展開し、離形紙を剥しながら目安線を基準に接着してください。
 =注意= この段階でシワがあると、張り込み後のシワ発生の原因となります。(図 3, 4 参照)

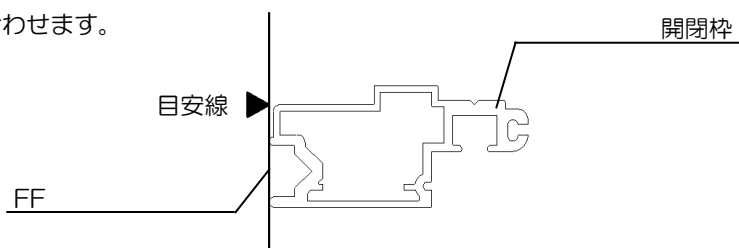


(図 3)



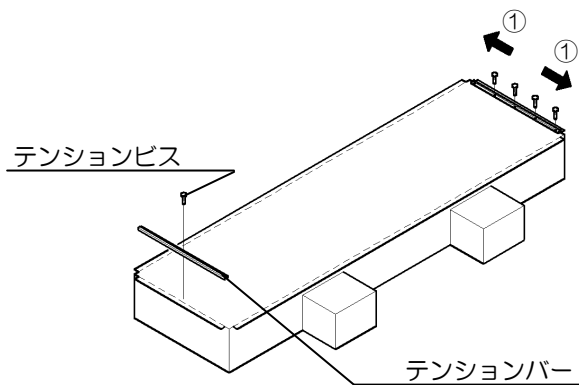
(図 4)

目安線は前枠の上図指示位置に合わせます。

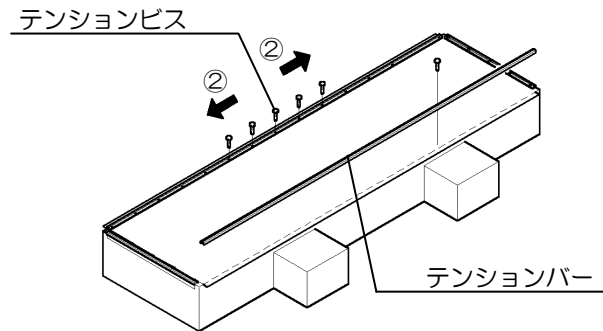


2 仮り締め

短辺側テンションバーのセンターより両サイドへ向かってテンションビスにより仮り締め作業を行います。完了後、長辺側も同様に行ってください。(図 5, 6 参照)

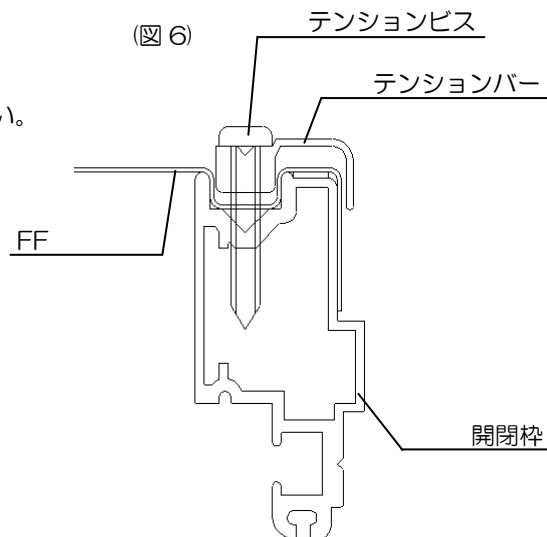


(図 5)



(図 6)

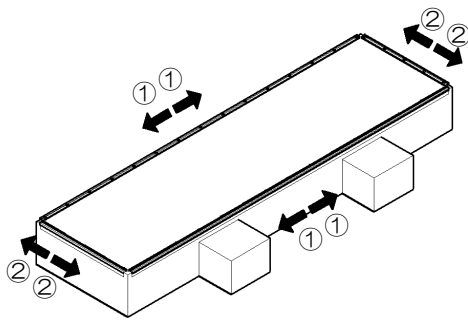
- 仮り締めはテンションバー挿入の半分程の位置で止めてください。



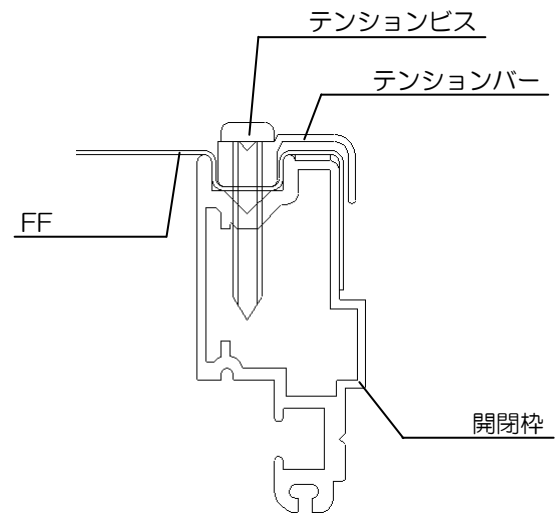
3 本締め

長辺側センターより行い、完了後、短編側も同様に行ってください。

=注意= テンションバーが最後まで挿入しきれない場合、額縁が装着できないこともあります。(図8参照)



(図8)

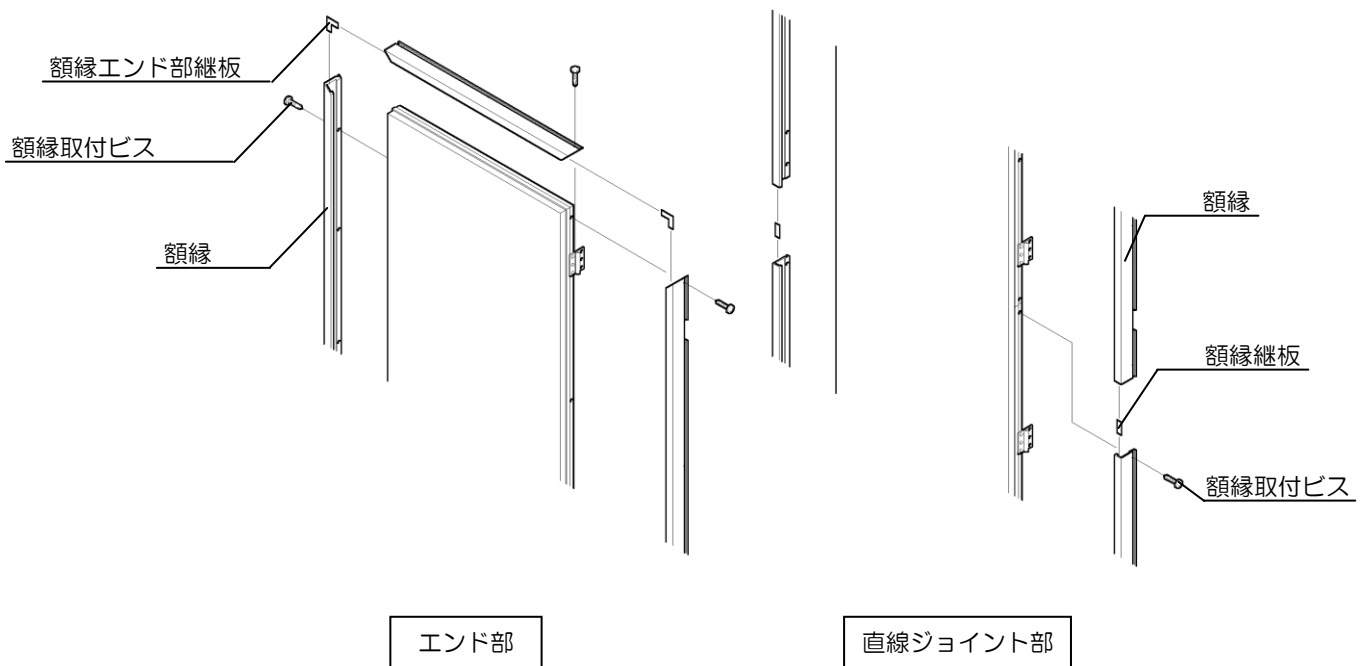


4 カット

額縁取り付けの際、額縁と開閉枠の間にはさみ込まない程度でフレキシブルフェースの端の余り部分をはさみなどでカットしてください。

5 額縁の取り付け

- 額縁のエンド部および直線ジョイント部にそれぞれ専用の継板を差し込みます。
- 額縁を開閉枠の所定の位置にセットし、額縁取付ビス (4×13 ドリルネジ) にて取り付けてください。



**警告**

躯体構造に適したアンカーボルトを使用してください。

- 躯体構造に適さないアンカーボルトを使用した場合、看板本体の落下などが起こり、死亡や重大な事故につながります。

**警告**

アンカーボルトの再使用は絶対にしないでください。

- 今まで使用していたアンカーボルトは経年変化により腐食や劣化が生じている場合が多くあります。躯体側の強度と共に安全性の立証ができません。必ず新規に施工してください。

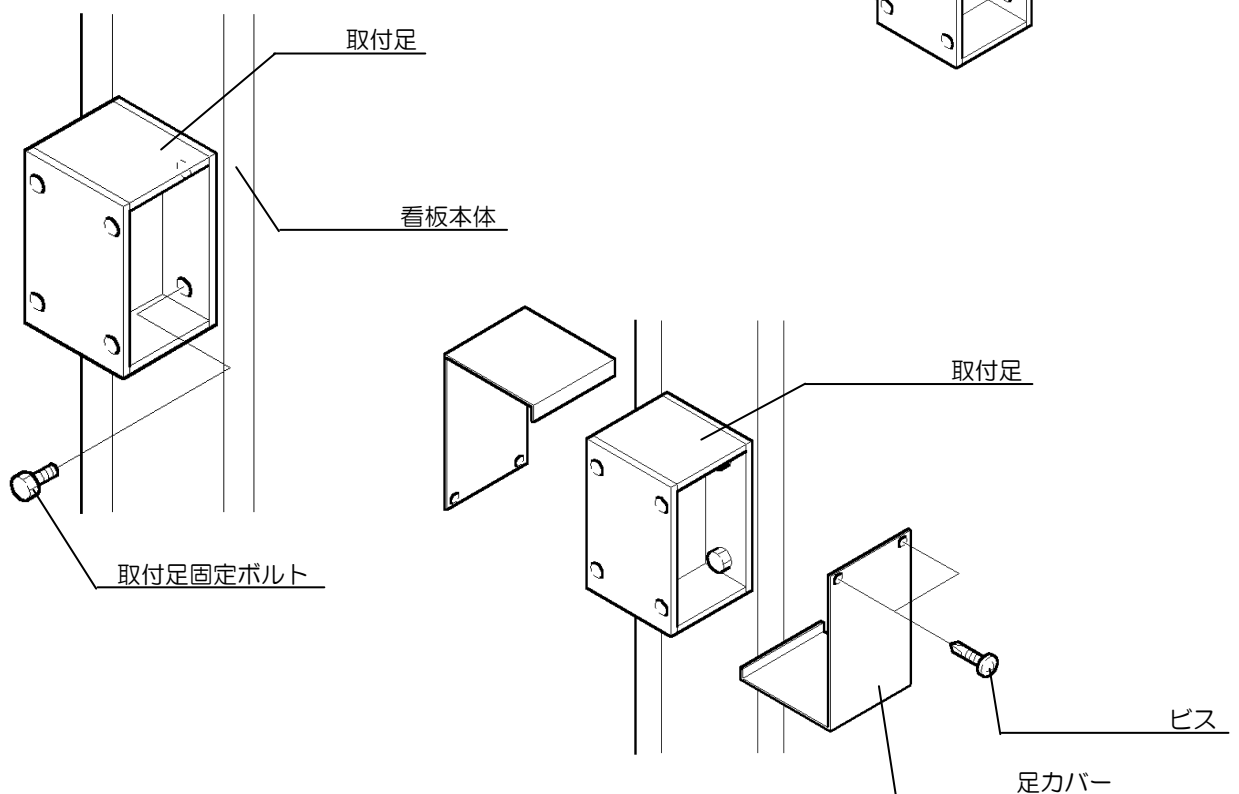
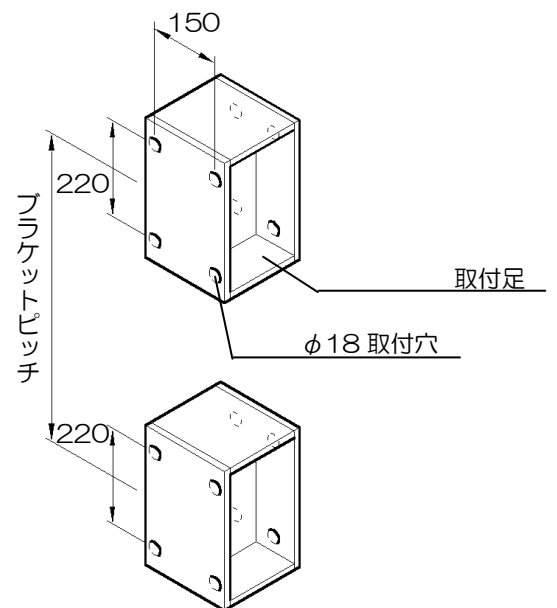
**警告**

取付足と看板本体を一緒に組んで取り付けしないでください。

- 施工に支障が生じ、不確実な施工となり、看板本体の脱落の原因になります。

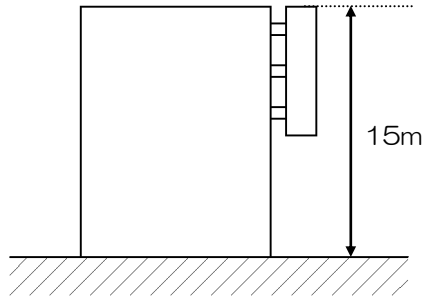
<作業手順>

1. 取付足は、上部より取り付けします。
墨出しを行い、墨に合わせて先に1ヶ所仮止めし、水平・垂直を確認して他の箇所を止めてください。
傾きがないか確認し、全てをしっかりと締めつけます。
2. 下側の取付足も同様に取り付けます。
3. 看板本体の取り付けを行います。付属の取付足固定ボルト(M16×50 六角ボルト)にて取り付けてください。
4. 足カバーをセットします。

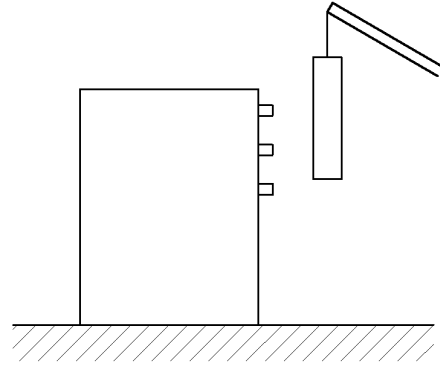


看板の取り付け高さは、看板の上端まで 15m 以内に収めてください。

■ 袖式

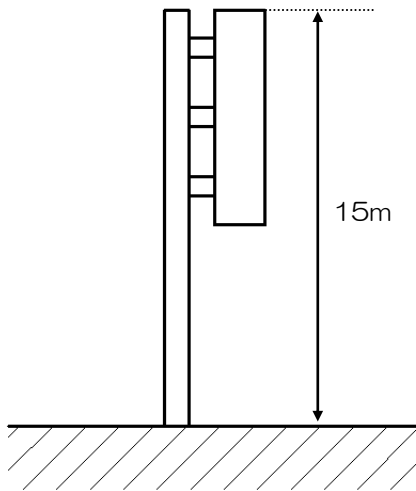


看板本体サイズが高さ 4m を超える場合、確認申請が必要になります。

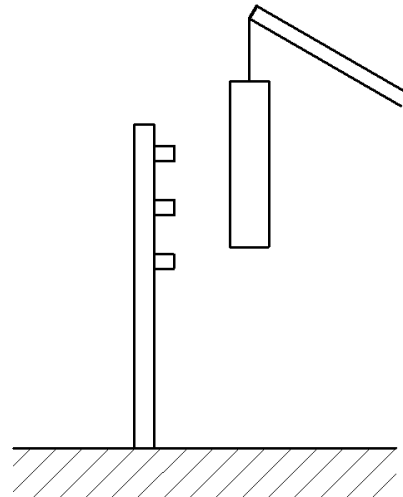


看板取り付けの際は、先に取り付け足を建物側に固定してから取り付けてください。

■ 自立式



支柱からの工事の場合、地盤面からの高さが 4m を超える場合、確認申請が必要になります。



看板取り付けの際は、先に取り付け足を支柱側に固定してから取り付けてください。

**警告**

結線工事は電気工事士の資格を持った技術者により、電気設備基準に準拠して行ってもらうてください。

フレームから電線を出す場合、ゴムブッシングを使用し、電線の保護を行ってください。電線にキズをつけたり挟みこんだ状態で使用すると、漏電・火災の原因となります。

**確認**

看板への給電は仕様書に基づき、専用の漏電ブレーカーを設置してください。

看板側のトラブルが原因で、看板以外の電気製品に被害を与える場合があります。

また、火災の原因にもなります。

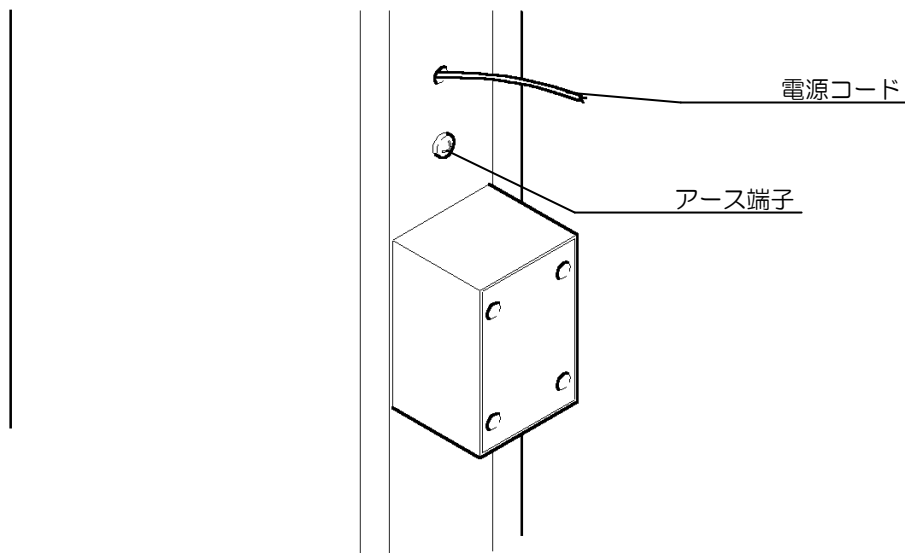
**確認**

アースは必ず設置してください。

結線終了後は必ず点灯・漏電のチェックを行ってください。

<作業手順>

1. 看板本体がジョイント式の場合、一次側電源が OFF になっていることを確認し、看板内部の結線を完了後に一次側電源の結線を行います。
2. 一次側電源を ON にし、点灯試験を行います。点灯しない場合は、必ず一次側電源を OFF にし、再度結線がされているか確認してください。
3. 電源コードがフレキシブルフェース面に接しないよう適所ごとに固定してください。
4. フレーム側面にあるアース端子接続用 M4 タッピングビス (ステンレス) を使用してアースをとってください。



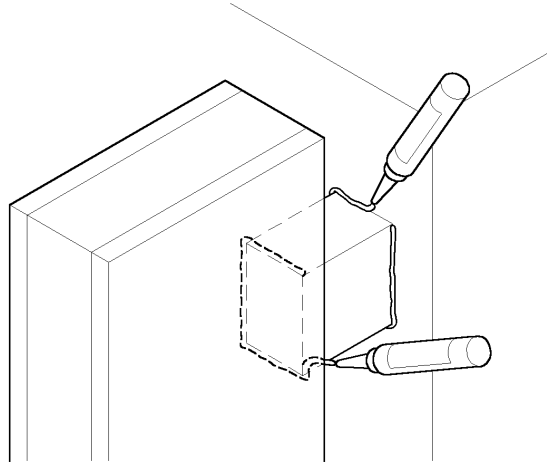
〈作業手順〉

雨水浸入防止のため、足カバーの看板本体および躯体との取り付け部分はシーリングを行ってください。



注意

シーリングが不十分な場合、取り付け足内部に雨水が浸入して内部を腐食させます。



蛍光灯の交換について

1. 側面ロックネジをゆるめ開閉枠を開いてください。
2. 支持棒の先端を開閉枠の穴に差し込み、再度蝶ナットを締めつけ、支持棒を固定してください。
3. 蛍光灯は昼光色のランプをお使いください。蛍光灯の交換と同時にグロー球の交換もお勧めします。
4. 支持棒を収納し開閉枠を閉じ、ロックネジで完全に固定してください。



警告

電源を切り、作業を行ってください。



確認

作業中、支持棒が外れることがありますので、支持棒へは必要時以外は触れないでください。



注意

開閉枠を扱う作業の場合は、指などをはさみケガをする場合がありますので十分に注意してください。

清掃について

薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布またはスポンジにて、表面の汚れを拭きとってください。



禁止

直接水をかけないでください。漏電の原因となります。



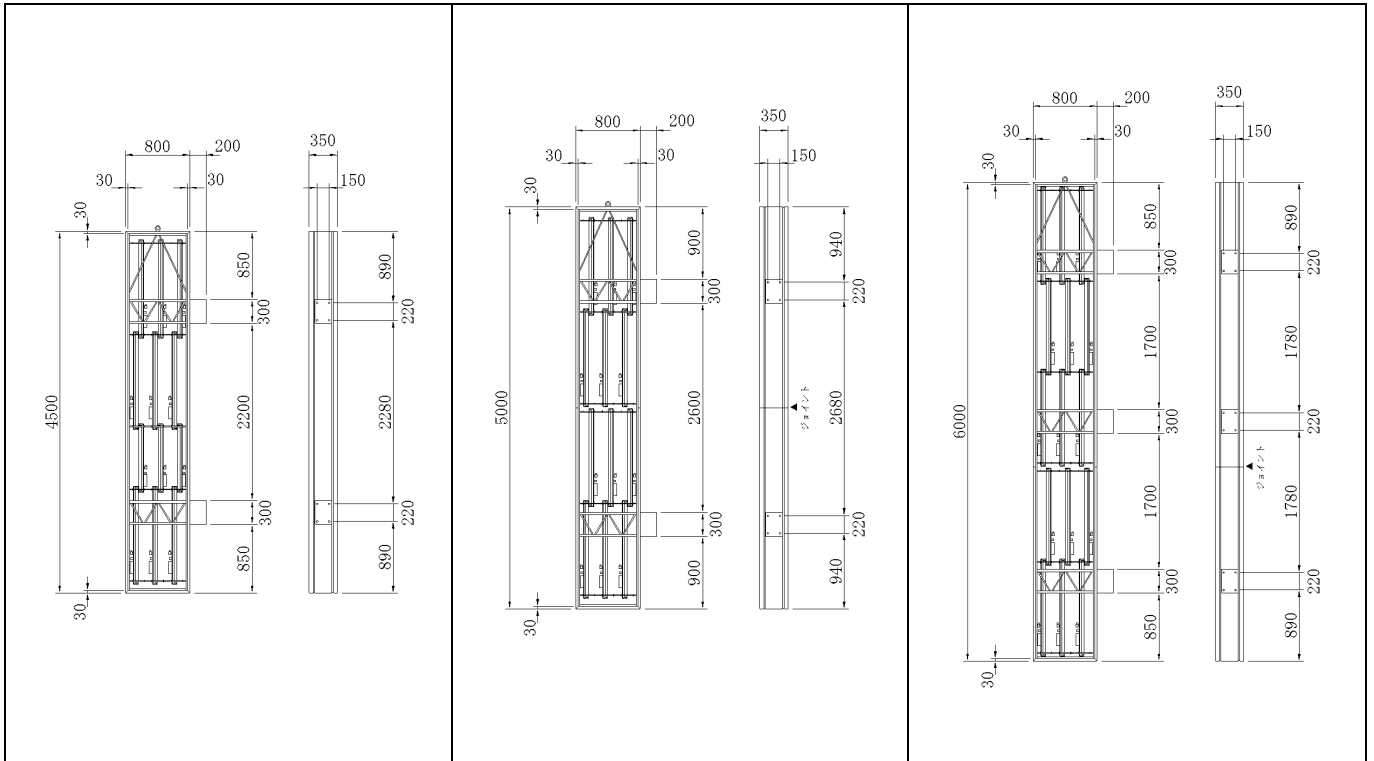
禁止

シンナーなどの溶剤は使用しないでください。



確認

ユニット内部を清掃する場合は必ず電源を切って作業してください。

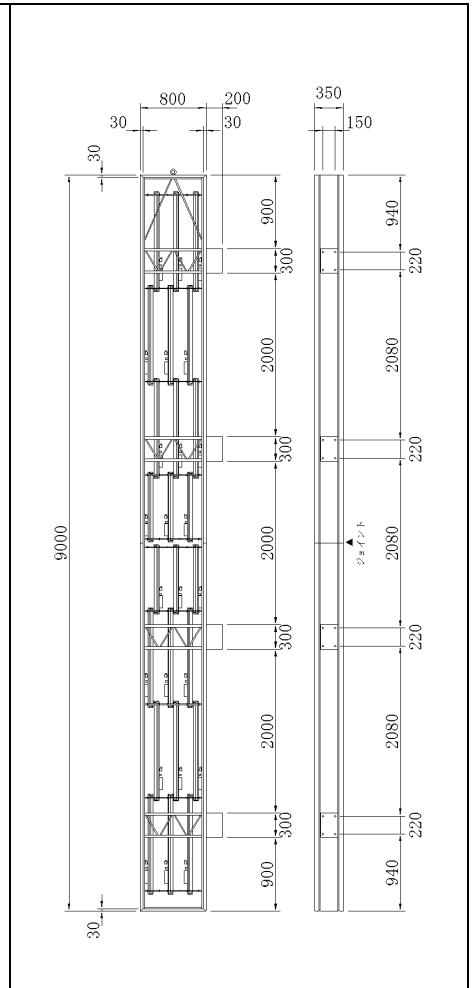
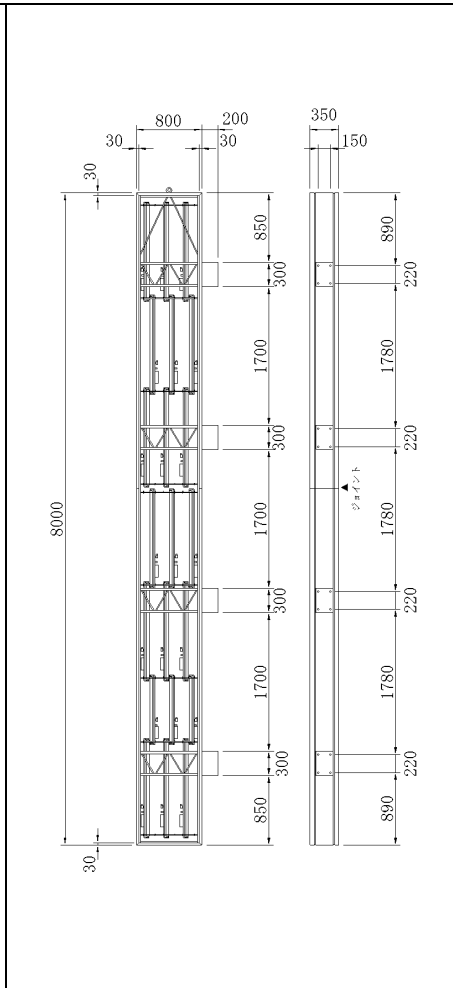
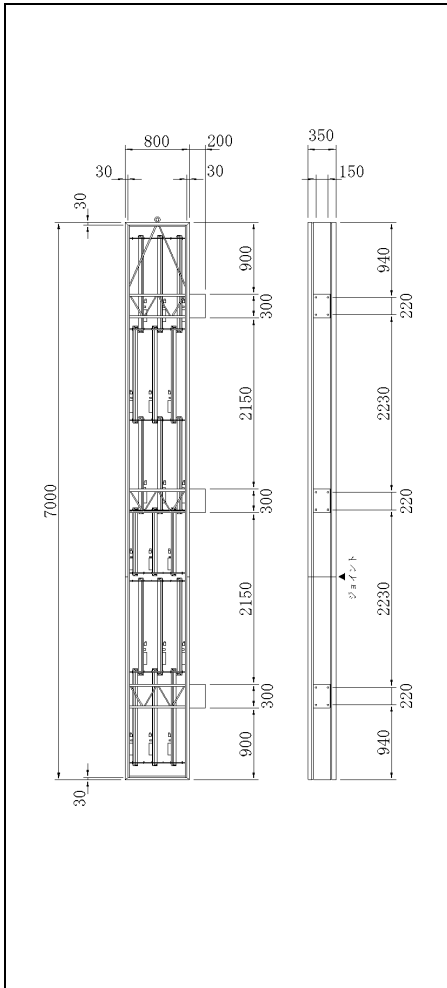


品番 FT0801 (品名 FF845)
W800×H4500×D350

品番 FT0802 (品名 FF850)
W800×H5000×D350

品番 FT0803 (品名 FF860)
W800×H6000×D350

広告面	FFシート (乳半)	広告面	FFシート (乳半)	広告面	FFシート (乳半)
フレーム	アルミ押出型材 開閉式	フレーム	アルミ押出型材 開閉式	フレーム	アルミ押出型材 開閉式
表面処理	アルマイト仕上げ	表面処理	アルマイト仕上げ	表面処理	アルマイト仕上げ
電装(高力率)	FL40W×9 FL32W×3	電装(高力率)	FL40W×12	電装(高力率)	FL40W×15
原稿サイズ	W740×H4440	原稿サイズ	W740×H4940	原稿サイズ	W740×H5940
FFシート サイズ	W840×H4600	FFシート サイズ	W840×H5100	FFシート サイズ	W840×H6100
重量	263.0Kg	重量	284.0Kg	重量	355.0Kg



品番 FT0804 (品名 FF870)
W800×H7000×D350

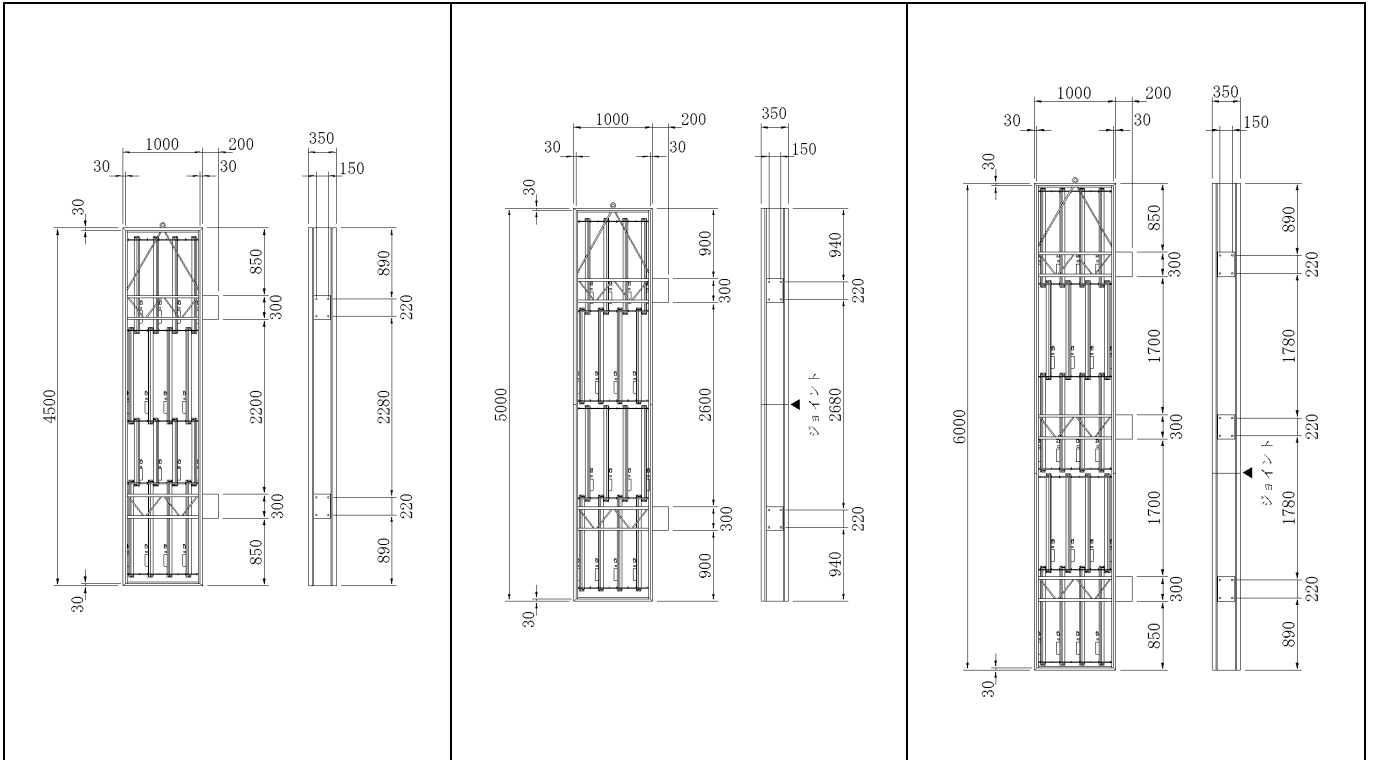
品番 FT0805 (品名 FF880)
W800×H8000×D350

品番 FT0806 (品名 FF890)
W800×H9000×D350

広告面	FFシート (乳半)
フレーム	アルミ押出型材 開閉式
表面処理	アルマイト仕上げ
電装(高力率)	FL40W×15 FL32W×3
原稿サイズ	W740×H6940
FFシート サイズ	W840×H7100
重量	390.0Kg

広告面	FFシート (乳半)
フレーム	アルミ押出型材 開閉式
表面処理	アルマイト仕上げ
電装(高力率)	FL40W×18 FL32W×3
原稿サイズ	W740×H7940
FFシート サイズ	W840×H8100
重量	459.0Kg

広告面	FFシート (乳半)
フレーム	アルミ押出型材 開閉式
表面処理	アルマイト仕上げ
電装(高力率)	FL40W×18 FL32W×6
原稿サイズ	W740×H8940
FFシート サイズ	W840×H9100
重量	497.0Kg

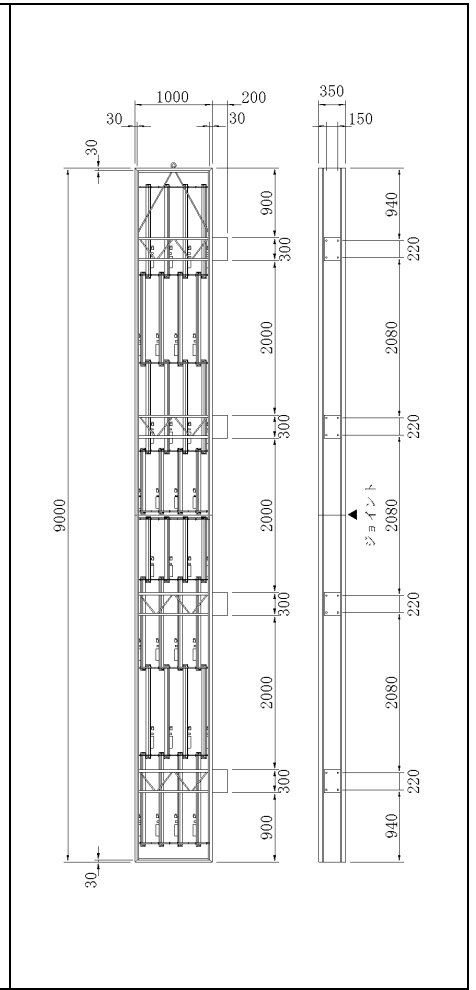
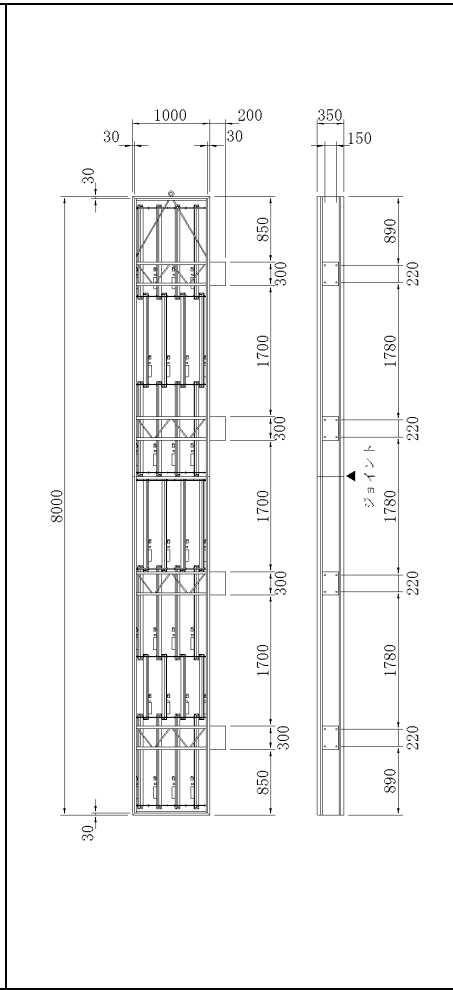
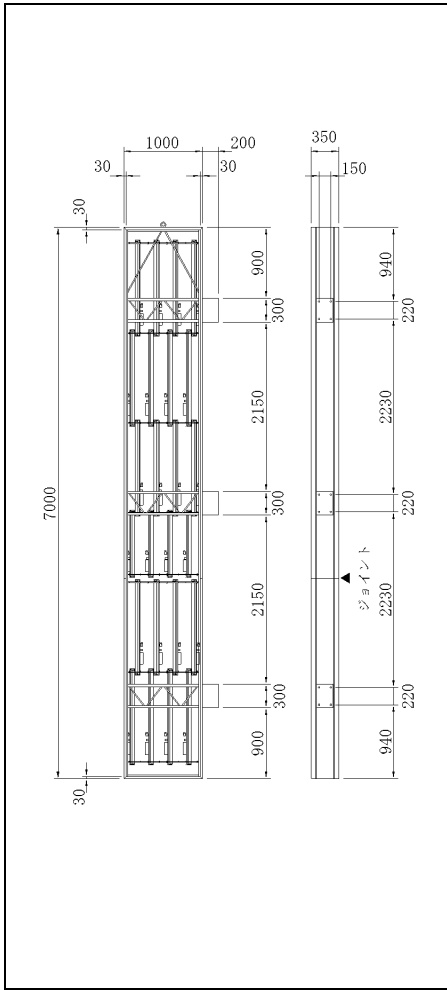


品番 FT1001 (品名 FF1045)
W1000×H4500×D350

品番 FT1002 (品名 FF1050)
W1000×H5000×D350

品番 FT1003 (品名 FF1060)
W1000×H6000×D350

広告面	フレキシブルフェース	広告面	FFシート (乳半)	広告面	FFシート (乳半)
フレーム	アルミ押出型材 開閉式	フレーム	アルミ押出型材 開閉式	フレーム	アルミ押出型材 開閉式
表面処理	アルマイト仕上げ	表面処理	アルマイト仕上げ	表面処理	アルマイト仕上げ
電装(高力率)	FL40W×12 FL32W×4	電装(高力率)	FL40W×16	電装(高力率)	FL40W×20
原稿サイズ	W940×H4440	原稿サイズ	W940×H4940	原稿サイズ	W940×H5940
FFシート サイズ	W1040×H4600	FFシート サイズ	W1040×H5100	FFシート サイズ	W1040×H6100
重量	285.0Kg	重量	302.0Kg	重量	385.0Kg



品番 FT1004 (品名 FF1070)
W1000×H7000×D350

品番 FT1005 (品名 FF1080)
W1000×H8000×D350

品番 FT1006 (品名 FF1090)
W1000×H9000×D350

広告面	FFシート (乳半)	広告面	FFシート (乳半)	広告面	FFシート (乳半)
フレーム	アルミ押出型材 開閉式	フレーム	アルミ押出型材 開閉式	フレーム	アルミ押出型材 開閉式
表面処理	アルマイト仕上げ	表面処理	アルマイト仕上げ	表面処理	アルマイト仕上げ
電装(高力率)	FL40W×20 FL32W×4	電装(高力率)	FL40W×24 FL32W×4	電装(高力率)	FL40W×24 FL32W×8
原稿サイズ	W940×H6940	原稿サイズ	W940×H7940	原稿サイズ	W940×H8940
FFシート サイズ	W1040×H7100	FFシート サイズ	W1040×H8100	FFシート サイズ	W1040×H9100
重量	422.0Kg	重量	489.0Kg	重量	538.0Kg

●製品は改良のため、予告なしに仕様変更する場合がございます。予めご了承下さい。

●取扱店

●製造元

 **三和サインワークス株式会社**

■ 本 社	大阪市北区梅田 3-1-3 (ノースゲートビルディング16F)
〒530-0001	TEL (06) 6453-3171(代) FAX (06) 6453-3179(代)
■ 大 阪 支 店	大阪市北区梅田 3-1-3 (ノースゲートビルディング16F)
〒530-0001	TEL (06) 6453-3002(代) FAX (06) 6453-3022(代)
■ 東 京 支 店	東京都港区港南 2丁目 15-1 (品川インターシティA棟 30F)
〒108-6030	TEL (03) 5783-3001(代) FAX (03) 5783-3010(代)
■ 福 岡 営 業 所	福岡市博多区西月隈 3丁目 2-13
〒812-0857	TEL (092) 472-7277(代) FAX (092) 472-7278(代)
■ 京 都 工 場	京都府綴喜郡宇治田原町大字岩山小字釜井谷 1-44
〒610-0261	TEL (0774) 99-7702(代) FAX (0774) 99-7712(代)
■ 埼 玉 工 場	埼玉県入間市宮寺字宮ノ台 4030 (武蔵工場団地内)
〒358-0014	TEL (04) 2934-5311(代) FAX (04) 2934-5313(代)
■ 電材営業部 東京	東京都港区港南 2丁目 15-1 (品川インターシティA棟 30F)
〒108-6030	TEL (03) 5783-3009(代) FAX (03) 5783-3010(代)
■ 電材営業部 大阪	大阪市北区梅田 3-1-3 (ノースゲートビルディング16F)
〒530-0001	TEL (06) 6453-3152(代) FAX (06) 6453-3022(代)
■ 電材つくば工場	茨城県かすみがうら市加茂 5289-1
〒300-0198	TEL (029) 828-1615(代) FAX (029) 828-1289(代)

ホームページアドレス

<http://www.sanwa-signworks.co.jp/>

メールアドレス

info@sanwa-signworks.co.jp